

Date:2016/11/24

大規模地震発生後の対応を確認 ～平成28年度情報伝達訓練を実施！！～

利賀ダム工事事務所は、平成28年11月14日(月)に大規模地震を想定した情報伝達訓練を実施しました。

この訓練は、災害対応力の向上を目的として、災害発生時に迅速な初動体制の確立と所管施設の被災状況の把握から応急対策までの情報収集等の手順確認を行いました。合わせて、砺波市と南砺市の想定震度が6弱であったことから、両市の被災状況と必要な支援内容の把握のため、利賀ダム工事事務所から情報連絡員(リエゾン)の派遣を想定した実践的な机上訓練を行いました。

また、訓練実施後に災害対応に関する意見交換会を行い、

- 被災対応は十分にシミュレーションしておくことが重要。
- 自らの役割に集中するだけでなく、災害対策支部として実施すべき事項を全員が把握しておくことが重要。

といった点について話し合い、大規模地震発生後の参集時間の差による初動時の要員不足への対応について、参加者全員で確認しました。

利賀ダム工事事務所では、いつ起こるか分からない地震災害に対して、迅速かつ的確な対応が行えるよう、職員一人一人が日頃からの備えをしっかりとするとともに、今回の様な訓練を定期的に実施していきます。



情報伝達と共有はメモや図面により実施!



災害対応の意見交換を行いました